

# 見つめよう暮らしと人権

【インターネットと人権問題】

インターネット問題

## 顔が見えないからこそ守ろうマナー

全世界で高度情報化社会（IT社会）が急速に進展しています。

インターネットは、利用者が手軽に情報を入手できるというだけでなく、だれでも容易に情報を発信できる利便性の高いものです。近年、インターネットでショッピングを楽しんだり日常生活に必要な情報が簡単に入手できたりと生活する上で欠かせないものとして、多くの人に利用されるようになってきました。

しかし、一方では、だれでも匿名で、どのような情報でも簡単に発信できる側面があることから、他人（個人・団体等）への誹謗（ひぼう）・中傷や差別を助長する表現等がインターネット上に掲載されたり、また、事件の捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真、児童ポルノ等個人のプライバシーに関する情報が多数掲載されるといった問題も生じています。

このような状況に対して、憲法の保障する表現の自由に配慮しながらも人権を侵害する悪質な情報の掲載に関しての法的な対応やプロバイダ（※）業界の自主規制による対応も進んでいます。しかし、いったん流出してしまった情報は、最初の発信者の意図にかかわらず、一斉にあらゆるところに流れてしまう危険性があり、完全に削除することが困難となります。

法律だけに頼ることなく、私たち一人ひとりがモラルと人権意識を高め、情報発信する内容に自己責任を持つことが大切です。

※プロバイダ…インターネットへの接続サービスを提供する業者

## 削除依頼を！被害者はプロバイダに人権侵害情報の削除依頼を

インターネット上に自分の名誉を棄損したり、プライバシーを侵害したりする記事が掲載されても、発信者がだれか分からないため、被害者が自力で損害を回復するのは困難です。そこで、「プロバイダ責任制限法」により、被害者は、プロバイダ等に対し、人権侵害情報の発信者（掲示板等）に書き込んだ人）の情報の開示を請求したり、人権侵害情報の削除を依頼したりすることができるようになってきました。

## 相談して！プロバイダが応じない場合は法務省の人権擁護機関に相談を

プロバイダ等が削除に応じない場合や個人で解決できない場合等があります。最寄りの法務局等に相談しましょう。



確かにインターネットは便利じゃの。

じゃが使い方を誤れば他人への中傷や侮蔑、無責任なうわさ、差別的な書き込みなど、人を傷つけたりする道具になってしまうこともあるのじゃ。

大変便利なものじゃが一ひとりが自覚と責任をもって使うことが大事なことじゃな。

# いきいき人生！高齢者福祉サービスのご紹介

問い合わせ 高齢者介護課  
地域包括支援センター

☎ 57-8511

今月号は、65歳以上の在宅高齢者を対象に実施している「いきいきクラブ事業」を紹介します。

「いきいきクラブ事業」は、地域の皆さんと共に取り組んでいます。

## いきいき元気な暮らしは毎日の介護予防から！

元気なうちから自分でできることを増やし、日々の生活を活発にしていける積極的な姿勢が介護予防であり、いつまでも元気で自分らしく、いきいきと暮らせる長寿生活を目指して活動しています。

## こんな活動をしています。

①介護予防メニュー（低栄養予防、口腔体操、認知症予防など）②軽度の運動③陶芸、手芸、木工、絵画等の創作活動④介護予防研修会⑤地域住民グループとの交流活動⑥その他



▲赤岡さくらの会の「かご作り」。90歳になる名人から教わりました

## 49会場で開催しています。

地区別会場数	現在49会場	「いきいきクラブ事業」を市から委託を受け、地域の公民館や集会所にて月1回程度、高齢者やボランティアが集い、楽しみながらできる介護予防の実践に取り組んでいます。お近くの「いきいきクラブ」に気軽にご参加ください。
赤岡町	2	それぞれの会場の活動内容や実施日時など詳しくは高齢者介護課地域包括支援センターまでお問い合わせください。
香我美町	8	
野市町	22	
夜須町	15	
吉川町	2	

## 募集しています。あなたもボランティアとして、身近な地域で一緒に活動しませんか？

いきいきクラブ事業のお手伝いや活動をしてくれるボランティアを募集しています。各会場では、参加者と一緒に作品づくりや、脳活性化リハビリゲーム、季節ごとの行事などを取り入れて実施しています。あなたの趣味を生かす場や楽しく気軽に集える場として参加してみませんか？詳しくは高齢者介護課地域包括支援センターまで。

- ボランティアの登録は高齢者介護課で！
- 年2～3回実施するボランティア研修会へ参加して！
- 身近な地域でいきいきクラブ事業のお手伝いや活動をしましょう。



私たちと活動しましょう！

※8月6日「いきいきクラブ事業」のボランティアを対象にした研修会では、約50人が参加しました



伊藤郁子さん  
「赤岡いきいきクラブ」の代表者として、精力的に高齢者の介護予防に努めている。

「いきいきクラブ事業」は、身近な場所（地域）で高齢者やボランティア、時には子どもたちとの交流を行いながら、同じ市内の「いきいきクラブ」同士の交流活動を通じて、介護予防事業の充実を図っています。「頭を使って考え、笑う」これが、いつまでもいきいき元気に生活できる秘訣だと思います。みんなでゲームをしたり体を動かすと、気持ち良くて楽しいですよ。気軽に参加をお待ちしています。



楽しく介護予防できる「脳活性化ゲーム」などを研修しました